

理運鑑定室

ふたりの相性鑑定書

夫婦として「元に戻る」のではなく、これからの形をつくるために

美穂さん × 亮介さん

結婚 17 年。生活は続いている。けれど、このまま二人だけになった時に何が残るのか。
今回の鑑定は、その問いを「相性の良し悪し」ではなく、二人の関係構造と今後 5 年間から読み解きます。

鑑定日 2026 年 9 月 24 日

PART 0

あなたからいただいたご相談

相談文は要約せず、受付時の原文をそのまま掲載しています

離婚したいわけではありません。でも、このままあと10年一緒にいる自信也没有ありません。

結婚して17年です。子どもは高校生と中学生で、家族としては普通に生活しています。夫婦喧嘩が毎日あるわけでは
ありません。むしろ最近は喧嘩すら減りました。

一番気になっているのは、必要なこと以外ほとんど話さなくなったことです。

私がか何か相談しても、夫は「それでいいんじゃない」「任せる」と答えることが多く、私には無関心に感じます。夫
からすると、口を出さない方が楽だと思っているのかもしれません。以前は私から旅行や外食に誘っていましたが、
断られるのが嫌になって、今はほとんど誘わなくなりました。

夫も仕事が忙しく、家では一人でスマホや動画を見えています。私も自分の時間を過ごしています。生活は成立してい
ます。でも、夫婦というより同居人に近い感覚です。

不思議なのは、本当に嫌いになったわけではないことです。病気になるれば心配すると思いますし、困っていたら助け
ると思います。それでも、今さら何を話せばいいのか分かりません。

子どもが家を出たあと、この二人で暮らしていけるのが怖いです。

私たちは、もともとどういう部分でつながっていた夫婦なのでしょう。今の距離は修復できるものなのか、それと
も無理に戻そうとせず関係の形を変えた方がいいのか。これから数年で、何を話し合っておくべきなのか知りたいで
す。

【今回、鑑定で知りたいこと】

1. 二人がもともとつながりやすかった部分と、現在距離が広がりやすい構造を知りたい
2. 会話が減った時に二人それぞれがどのような反応をしやすいか知りたい
3. 夫婦関係を修復する場合に必要な条件と、無理に戻そうとしない方がよい部分を知りたい
4. 子どもが独立した後を見据え、夫婦として話し合うべき現実的なテーマを知りたい
5. 今後数年で関係の再設計を進めるなら、どの時期に何を意識すればよいか知りたい

PART 0

今回この鑑定で答えること

Q1

二人がもともとつながりやすかった部分と、現在距離が広がりやすい関係構造を知りたい

Q2

会話が減った時に、美穂さんと亮介さんがそれぞれどのような反応をしやすいか知りたい

Q3

夫婦関係を修復する場合に必要な条件と、無理に以前の形へ戻そうとしない方がよい部分を知りたい

Q4

子どもの独立後を見据え、夫婦として事前に話し合っておくべき現実的なテーマを知りたい

Q5

今後数年で夫婦関係を再設計する場合、どの時期に何を意識するとよいか知りたい

基本情報

美穂さん	(個人情報) ／ISFJ-T (本人申告)
亮介さん	(個人情報) 社・管理職／ISTJ-A (本人申告)
関係	結婚 17 年・同居中／お子さまは高校生と中学生

出生時刻 (個人情報)

	記録確認なし
対象期間	2026 年 9 月 24 日～2031 年 9 月 24 日
今回使用した鑑定領域	二者相性 (西洋占星術・四柱推命) ／本人申告 MBTI／相談連動 Timing

亮介さんは出生時刻が具体的でも記録確認がないため、亮介さん側の ASC・MC・ハウス重ねは主要判断に使用していません。二人の主要天体間アスペクトと四柱推命の二者関係は計算済みの確定／安定情報を使用しています。

まず、二人はどんな関係か

ご夫妻は、「一緒に生活を成立させる力」と「自然な親和性」は強い一方、気持ちの確認をしなくても日常が回ってしまうため、関係が壊れる前に“静かに別々になる”方向へ進みやすい夫婦です。

二人の間には、価値観・好み・一緒に動く力を支える強い接点が複数あります。これは、17年という年月の事実から逆算した説明ではなく、二者計算そのものに出ている構造です。一方で、感情のリズム、会話の重さ、自由距離にはズレがあり、親和性があるからこそ大喧嘩せず、問題を“それぞれの生活”へ吸収してしまう面があります。

理運の鑑定基準

二人は「合わないから離れた」のではなく、「生活が回るから話さなくても済んでしまった」ことで距離が固定されやすい関係です。

修復の中心は、昔と同じ会話量や一体感を取り戻すことではありません。互いの自由を残したまま、必要な話と小さな共同行動を意図的に戻すことです。

鑑定の要点

この夫婦の問題は“愛情がゼロかどうか”ではなく、愛情・責任・生活能力があるために、関係のメンテナンスをしなくても長く成立できてしまうことです。

だから「もっと仲良く」より、「二人でしか決められないことを、二人で決める」を増やす方が効きます。

今回特に重要な算出ポイント

算出ポイント	計算値	この相談での意味
美穂さんの金星 × 亮介さんの太陽	トライン／orb 0.36°	相手の存在・方向性を受け入れやすい強い親和
美穂さんの火星 × 亮介さんの金星	トライン／orb 0.78°	一緒に動くことが関係の接点になりやすい
美穂さんの火星 × 亮介さんの月	スクエア／orb 2.42°	行動・働きかけと感情のタイミングがズレやすい
美穂さんの水星 × 亮介さんの土星	コンジャンクション／orb 4.62°	話を現実化できる一方、会話を重くしやすい
美穂さんの水星 × 亮介さんの天王星	セクスタイル／orb 0.72°	話し方を変える・新しいやり方を試す余地
美穂さんの金星 × 亮介さんの天王星	スクエア／orb 2.84°	親密さと自由距離の波が同じになりにくい
四柱：日主 庚 × 庚	同五行・同極性	対等・並列・自己決定性が重なりやすい
四柱：日支 午 × 午	同支＋自刑	似た反応の反復と、同じパターンを繰り返しやすい緊張

本編への案内

- 1. まず二人それぞれが、この関係の中でどう動きやすいかを分けて見ます。
- 2. 次に、自然に噛み合う部分と、距離が広がる構造を分けます。
- 3. そのうえで、会話が減った時の二人の反応、修復条件、子ども独立後の現実設計へ進みます。
- 4. 最後に 2026～2031 年の Timing を重ね、5 つの質問を一問ずつ回収します。

PART 1

この関係の中で見える、二人それぞれの人物像

完全な単独総合鑑定ではなく、今回の二者計算で前面に出る関係上の役割を中心に整理します

美穂さん - 関係を「動かす」「確かめる」側になりやすい

美穂さんは、この関係では“何も感じないから離れる”より、“何かをしても反応が返らない時に、働きかけを止める”側として出やすい人です。

美穂さんの金星と火星は、亮介さんの太陽・水星・金星・火星へ複数の協調アスペクトを作っています。つまり、美穂さん側の「好き・大切・一緒にやりたい」と「動く・誘う・進める」は、亮介さんの価値観や行動へ届く経路を持っています。関係を温める時、美穂さんが具体的な行動を起こすこと自体は、この二人に合っています。

一方、その金星・火星が亮介さんの月とはスクエアです。働きかけの内容が悪いのではなく、亮介さんのその時の気分・安心感・休みたいタイミングと噛み合わないことがある。ここが、美穂さんにとって「誘ったのに反応が薄い」「気にかけたのに伝わらない」になりやすい地点です。

会話では、美穂さんの水星が亮介さんの木星・土星・天王星・海王星と接触しています。話を広げることも、現実的に整理することも、新しい考え方を持ち込むこともできます。その一方で、話が重くなる、意味を読みすぎる、相手の曖昧な返答の裏を考える、という方向にも振れやすい。だから美穂さんに必要なのは「もっと説明すること」ではなく、問いを小さくすることです。

美穂さんの強み

関係が停滞した時に、現状をそのままにせず「何かを変えたい」と考えられること。行動へ移す力があり、二人の接点をつくる起点になれます。

美穂さんが消耗しやすい条件

働きかけても反応の意味が返ってこない状態が続くこと。断られること以上に、「なぜ」「どう思っている」が分からない状態が積み重なると、自分から動くこと自体を止めやすくなります。

亮介さん - 関係を「壊さず維持する」側になりやすい

亮介さんは、この関係では“気持ちをたくさん言葉にして関係を保つ”より、“生活を壊さず、必要なら役割を果たす”ことで関係を維持しやすい人です。

四柱推命の方向別十神では、美穂さんから亮介さんを見ても、亮介さんから美穂さんを見ても、相手の日干は「比肩」です。二人の間に対等性・並列性・自己主張の同質性が強く、どちらかが全面的に相手へ依存するより、それぞれが自分の足で立つ関係になりやすい。亮介さん側は特に、相手に任せることを「距離」ではなく「相手の領域を尊重すること」として扱いやすい構造があります。

ただし、西洋側では亮介さんの土星が美穂さんの水星と結びついています。亮介さんの「責任・慎重さ・境界」の機能が、美穂さんの会話に入るため、軽く答えるより“言うならちゃんと”になりやすく、結果として返答を短くすることがあります。また亮介さんの天王星と美穂さんの金星の緊張は、親密さを求められた時ほど自由距離を欲しやすい波を作ります。

自己申告 MBTI は ISTJ-A です。占術とは別レイヤーですが、I・S・J は「静かに・具体的に・決まった生活を回す」方向の補助説明として、今回の計算構造と矛盾しません。だから亮介さんには、感情を大量に言語化してもらうより、「A と B ならどちら」「今は変えたい／変えたくない」「いつなら話せる」のような具体化が有効です。

亮介さんの強み

感情が揺れた時にも、生活・役割・責任をすぐ投げ出す方向へは行きにくいこと。関係を安定運用する力として使えます。

亮介さんが距離を取りやすい条件

結論のない感情確認が長く続く、自由時間が「関心のなさ」の証拠として責められる、正解が分からないまま返答を求められる時。

美穂さんから亮介さんへ

「一緒にやりたい」「こうしたい」という働きかけは届きやすい。ただし、感情の返答まで同じ速度で求めるとズレやすい。

亮介さんから美穂さんへ

「任せる」「口を出さない」が尊重として出ても、美穂さんには無関心に見えやすい。理由を一言足すだけで印象が大きく変わります。

PART 2

自然に噛み合うところ

「何が残っているか」を先に確認します

1. 価値観・好み・存在の受け入れには、強い接点がある

美穂さんの金星と亮介さんの太陽が 0.36° の非常に近いトライン、金星同士もトラインです。この二つは、相手の存在や好みを「根本から嫌う」より、自然に受け入れやすい土台を作ります。長年一緒にいると刺激は薄くなっても、「この人のこういうところは分かる」「生活の中にも違和感が少ない」という形で残りやすい資源です。

美穂さんの金星と亮介さんの水星にもトラインがあります。感情そのものを語ることが減っていても、話題や価値判断の入口が完全に閉じたわけではありません。話すテーマと形式が合えば、会話を再開する余地があります。

2. 二人は「話し合い」より「一緒に動く」で温度が戻りやすい

美穂さんの金星と亮介さんの火星、美穂さんの火星と亮介さんの太陽・金星がいずれもトラインです。これは、二人の関係において“共同行動”が強い接続経路であることを示します。食事、買い物、車での用事、短い外出、家のことを一緒に片付けるなど、目的がある時間の方が自然です。

相談文では、以前は美穂さんから旅行や外食へ誘っていたが、断られるのが嫌になって誘わなくなったとあります。これは顧客提供情報です。計算側では「一緒に動くことが関係資源」という別の根拠が出ているため、再接続するなら“旅行を復活”ではなく、断られても傷が小さいサイズの共同行動から戻すのが合理的です。

3. 「困った時には助ける」というつながりと相性がいい

二人の日主は同じ庚金・同じ陽で、対等性と自立性が重なります。さらに美穂さんの木星と亮介さんの月はほぼ正確なコンジャンクション（orb 0.07° ）です。相手の感情を常に読み合うというより、必要な場面では支えたり、状況を大きく受け止めたりする経路があります。相談文の「病気になるれば心配する、困っていたら助けると思う」という感覚は、計算上の関係資源と矛盾しません。

4. 長期生活に向く“実務連携”がある

美穂さんの木星と亮介さんの土星はセクスタイルです。拡張と構造、展望と責任をつなぐ補助要素で、家庭運営・役割・現実的な判断を共同で扱う時に使えます。二人は「気持ちをいつも共有する夫婦」より、「必要なことを決めて動ける夫婦」の方が強みを出しやすい組み合わせです。

ここまでの結論

二人に残っているのは、派手な恋愛感情の証拠ではなく、親和・実務・共同行動・必要時の支援という“長期関係の資源”です。修復するなら、そこを入口にします。

PART 3

距離が広がりやすい構造

大喧嘩ではなく「静かな分離」が進みやすい理由

1. 好意の出し方と、感情の受け取り方が一致しない

美穂さんの金星と火星は、どちらも亮介さんの月とスクエアです。美穂さん側が「気にかける」「誘う」「動く」として出したものが、亮介さん側の気分・安心・休息のタイミングと一致しないことがあります。すると、美穂さんには“反応が薄い”、亮介さんには“今それを求められると重い”という形で現れやすい。

ここで重要なのは、金星・火星が亮介さんの太陽・金星・火星とは強く調和していることです。つまり「美穂さんの働きかけ自体が合わない」のではなく、“感情のタイミングだけがズレやすい”。これが、この二人の一見矛盾する相性です。

2. 会話は、広がる力と重くなる力が同時にある

美穂さんの水星と亮介さんの木星はコンジャンクションで、話を広げたり意味を見つけたりする力があります。一方、同じ水星に亮介さんの土星がコンジャンクション、海王星がスクエアです。話が現実的・慎重になることと、言った意味／受け取った意味が曖昧になることが同時に起きやすい。

この構造では、「それでいいんじゃない」「任せる」という短い言葉が、発した側には“反対しない”“相手を尊重する”でも、受け取る側には“関心がない”“考える気がない”になり得ます。短い返答そのものより、意味の補足がないことがズレを大きくします。

3. 親密さと自由の距離が同じテンポではない

美穂さんの金星と亮介さんの天王星はスクエア、亮介さんの月には美穂さんの天王星がコンジャンクションしています。近さを求めるタイミングと、変化・独立・一人になりたいタイミングが一致しにくい。これは「離れたい」という固定結論ではなく、一定の自由がないと親密さが負担へ変わりやすい構造です。

4. 責任は関係を支える一方、愛情表現を固くする

美穂さんの土星は亮介さんの太陽・金星とオポジションです。長く一緒に生活するうえでは、責任・役割・境界を意識させる力になりますが、同時に「こうあるべき」「夫婦なら」「家族として」という重さが、亮介さんの自己表現や愛情表現へ圧として出ることがあります。

5. 四柱推命でも「似ている」と「反復する緊張」が同居する

日主は庚×庚、日支は午×午。同じ反応軸を共有しやすい一方、午×午には自刑も成立しています。自刑は“悪い相性”ではなく、同じパターンを内側で反復しやすい緊張として扱います。また、美穂さんの月支戌と亮介さんの月支辰には冲、戌と亮介さんの年支酉には害があり、生活背景や慣れたやり方の細かなズレが蓄積しやすい構造もあります。

距離が広がる循環

①美穂さんが働きかける → ②亮介さんの感情タイミングとズレる → ③返答が短くなる／保留される → ④美穂さんが意味を考える → ⑤再び傷つかないよう働きかけを減らす → ⑥亮介さんは摩擦が減ったと受け取りやすい → ⑦各自の生活が成立する。

この循環は、大喧嘩がなくても距離を固定します。

PART 4

会話が減った時・すれ違った時

場面別に、二人の反応を具体化します

連絡・会話が減った時

美穂さん 最初は話題を作る・誘う・確認する。それでも反応が薄いと、拒否される痛みを避けるため自分から動かなくなりやすい。沈黙の間に「関心がないのでは」と意味づけが進みやすい。	亮介さん 明確な問題が起きていないなら、沈黙を緊急事態と見なしにくい。話題がなければ無理に話さず、相手も自分の時間を過ごせていると扱いやすい。
---	---

片方が忙しい時

美穂さん 忙しいこと自体は理解できても、説明や一言がないと「私とのことは後回し」に感じやすい。	亮介さん 忙しい時はまず役割と休息へ意識が向きやすい。家庭でさらに説明責任を求められると、返答を最小化しやすい。
---	--

片方が一人になりたい時

美穂さん 距離を置く理由が分かれば待てるが、理由がないと関係の温度低下として受け取りやすい。	亮介さん 一人時間は関係否定とは限らず、むしろ負荷を下げるための通常の回復手段になりやすい。
--	--

旅行・外食・休日の予定

二人は共同行動そのものには相性資源があります。ただし、大きい計画ほど断られた時の意味づけが大きくなります。旅行より半日外出、予約が必要な店より近所の食事など、“拒否されても関係全体の否定に見えないサイズ”が適しています。

将来の話をする時

「私たちどうする？」という大きな問いは、亮介さん側に正解のない負荷として入りやすい。代わりに「子どもが出た後、休日は月1回外に出る？それとも家で一緒に何かする？」のように、具体的な二択・三択へ落とすと会話が動きやすいです。

喧嘩・気まずさが起きた時

この二人は感情を一気に出し切って終わるより、距離を取って日常へ戻りやすい組み合わせです。ただし、戻ったことを“解決した”と扱うと同じパターンが残ります。翌日～数日以内に、論点を一つだけ回収する方が再発防止になります。

仲直りの基本形

「昨日の話、全部やり直したいわけじゃない。1個だけ確認したい」で再開する。

- ・何が嫌だったか
- ・次回どうしてほしいか
- ・自分は何を変えるか

この3点だけで終える。

PART 5

修復するなら必要な条件

戻すもの・戻さなくてよいものを分けます

結論：修復余地はある。ただし“以前の夫婦像”へ戻す必要はない

親和性・共同行動・実務連携・必要時の支援という関係資源が複数残っています。一方、感情リズムと自由距離のズレも明確です。したがって、修復の目標は「会話が多い夫婦」「何でも一緒に夫婦」ではなく、「必要なことを話せて、選んで一緒にいる時間がある夫婦」に置く方が合います。

条件1 話す量ではなく、答えやすさを変える

「どう思う？」だけではなく、「AとBならどちら寄り？」「今は変えたい／変えたくない／分からないのどれ？」のように返答形式を作る。亮介さんの短い返答を“長文へ矯正する”より、短くても意味が分かる返答へ変える方が実効的です。

条件2 「任せる」の意味を見える化する

3択ルール

「任せる」と言う時は、①どちらでも本当にいい ②自分はA寄りだが任せる ③今日は考えたくない、のどれかを一言足す。

これだけで、美穂さんが無関心かどうかを推測する量が減ります。

条件3 共同行動は“小さく・短く・採点しない”

食事・買い物・散歩・車で用事を済ませるなど、1～2時間で終わるものから。終わった後に「楽しかった？」「また行く？」と関係の評価へつなげず、“一緒にやった”ことだけを残します。

条件4 一人時間を正式に認める

この二人にとって、一人時間を持つこと自体は関係破綻のサインではありません。むしろ自由距離を尊重した方が、選んで一緒にいる時間が戻りやすい。問題は、一人時間の存在ではなく「二人の時間が完全にゼロになること」です。

条件5 改善担当を一人にしない

美穂さんだけが誘う・話題を作る・予定を立てる形では続きません。月1回でもよいので、次の共同予定は交代で決める。亮介さん側にも「提案する役割」を少量でも持ってもらうことが重要です。

戻さなくてよいもの

- ・交際初期と同じ会話量
- ・何でも共有すること
- ・毎週一緒に出掛けること
- ・同じ趣味を持つこと

- ・スマホや一人時間を減らすこと自体を目標にすること

残すべきもの

- ・大事な相談には自分の意見を返す
- ・困った時に助ける
- ・月に一度でも二人の共同時間を持つ
- ・子ども独立後の生活を共同で設計する
- ・相手の沈黙の意味を推測だけで決めず確認できる仕組みを持つ

PART 6

子どもが独立した後を見据え、今話すべきこと

1. 「夫婦二人の休日」をどうするか

子どもの予定がなくなった後、毎週一緒にするのか、基本は別々で月1回だけ一緒にするのか。曖昧にしておくと、亮介さんは各自の自由へ、美穂さんは“二人でいる意味”の確認へ向かいやすいため、最低限の共有時間だけ先に決めておく価値があります。

2. 家の中の距離

同じ家でも、別々に過ごす時間と、食事・テレビ・就寝前など同じ空間にいる時間をどこに残すか。二人に必要なのは“常一緒に”ではなく、“同じ家にいるだけ”を超える小さな共同習慣です。

3. 家計・老後資金・働き方

教育費の比重が下がった後、貯蓄・旅行・住まい・退職時期に何を優先するか。二人は現実的なテーマの方が会話を始めやすいので、家計は夫婦関係を話す入口としても使えます。

4. 親・介護・家族責任

今後、親の体調や支援が夫婦の時間・費用へ影響する可能性があります。誰がどこまで担うか、兄弟姉妹との役割、緊急時の判断など、感情問題とは分けて早めに共有しておく、後から“当然だと思っていた”の衝突を減らせます。

5. 二人で残したいもの

旅行、外食、年中行事、趣味、会話など、全部を残す必要はありません。「これだけは二人で続けたい」を1〜3個だけ選ぶ方が、ご夫妻には合います。量より、双方が選んだという事実が重要です。

6. 困った時のルール

大事な相談をされたら、少なくとも「自分の意見」を一度は返す。すぐ答えられない場合は「〇日までに考える」と期限を返す。これを夫婦ルールにすると、“無関心かどうかを推測する”時間を大幅に減らせます。

話し合う順番

休日 → 一人時間 → お金 → 親・家族 → 二人で残す習慣 → 困った時のルール

愛情の結論から入るのではなく、生活設計から入る方が、この二人は本音へ近づきやすいです。

PART 7

具体的な解決策

今すぐ変えること／次の1回で試すこと／90日まで

最初の一言

話し始めるなら

「離婚の話をしたいわけじゃないんだけど、子どもが家を出た後の二人の生活を、今のうちに一回考えておきたい。仲良し夫婦に戻ろうっていうより、お互い無理がない形を決めたいんだ。」

この言い方は、問題の存在を弱めず、同時に“今すぐ離婚の結論を出せ”という圧を外します。亮介さんが答えるべき議題を現実レベルへ下げするため、会話を始めやすくなります。

避けたい始め方

- ・「普通の夫婦ならもっと話すよね」
- ・「あなたは私に興味がない」
- ・「私ばかり努力してきた」
- ・「このままなら離婚しかない」
- ・「どうしたいの？」だけを大きく投げる

これらの言葉が不当という意味ではありません。ご夫妻の関係構造では、評価・責任追及・正解要求として入りやすく、亮介さん側の返答をさらに短くする可能性があるため、最初の一手としては効率が悪いという意味です。

20分ミーティング方式

1. テーマは一つだけ。最初は「子ども独立後の休日」程度でよい。
2. 美穂さんは5分で「今困っている事実」「希望」を分けて話す。
3. 亮介さんは「変えたくないこと」「変えてもよいこと」を一つずつ答える。
4. その日に試すことを一つだけ決める。
5. 結論を完成させず、次に確認する日だけ決める。

30日プラン

1. 美穂さんが「残したい／変えたい／もう無理に求めない」を各3つ書く。
2. 20分ミーティングを1回だけ実施する。
3. 1～2時間の小さな共同行動を1回だけ入れる。
4. 「任せる」3択ルールを試す。
5. 終わった後に夫婦関係を採点しない。次のテーマだけ決める。

90日プラン

1. 月1回、30分以内の生活ミーティングを続ける。
2. 月1回、二人で選んだ共同時間を入れる。次回の提案者は交代制にする。
3. 一人時間を守る時間帯・休日の基本形を決める。
4. 家計・親・老後のうち2テーマまで具体化する。
5. 3か月後は「会話量」ではなく、「必要な話を避けなくなったか」「一緒にいる時の緊張が減ったか」で評価する。

3 か月後に見るサイン

続ける価値が高い変化 短くても理由のある返答が増えた／断る時に説明が一言つく／二人の予定を双方が提案する／一人時間を認めても不安定にならない／将来の話に“続き”ができる。	設計を変えた方がよい状態 会話のたびに一方だけが疲弊する／共同行動が義務になっている／役割の話はできても希望を一切言えない／改善担当が一人だけに固定される。
--	---

PART 8

2026～2031 年の関係再設計 Timing

「この時期に何が起きる」と断定せず、その時期に前面化しやすいテーマと使い方を整理します

全体の流れ

5 年間の骨格 2026 秋～2027 春：問題を定義する 2027 夏～秋：小さく再接続する 2028：生活・役割を具体化する 2029：決めた形が無理なく続くか検証する 2030：自由と共同責任の境界を決める 2031：新しい会話方法へ更新する
--

期間	前面化しやすいテーマ	計算上の主な背景
2026 年秋～2027 年春	再編・責任が前面化	美穂：天王星□火星・金星、冥王星□土星。亮介：冥王星△土星、天王星△土星、2026 流年は双方偏官。
2027 年夏～初秋	接点づくりと会話の試行	美穂：木星♂金星・火星。亮介：木星△太陽・金星。一方で亮介は土星♂水星・火星。
2028 年春～2029 年春	役割・責任・生活構造	美穂：土星△金星、土星♂土星、土星□MC、土星△火星。亮介：土星♂太陽・金星。
2029 年	内省と負荷の見直し	双方の流年は印綬。美穂：土星♂月。亮介：冥王星★月、土星♂金星の余韻。
2030 年	自己決定と境界	双方の流年は比肩。美穂：土星△水星・□金星・□火星。亮介：土星♂月。
2031 年前半～初秋	会話方法と自己像の更新	双方の流年は劫財。亮介：木星△水星・火星、天王星★水星。美穂：木星★ASC、天王星△ASC 開始。

2026 年秋～2027 年春

最終結論より「何を残す／変える／求めない」を言語化。大きな感情決着は急がない。

2027 年夏～初秋

外食・近場の外出など短い共同行動を試す。重い夫婦会議を連続させない。

2028 年春～2029 年春

休日・家計・親・老後・一人時間を具体化。感情の「正解」より生活契約を作る。

2029年

前年までのルールが無理なく続くか検証。静かな時期を失敗判定にしない。

2030年

「別々でよい領域」と「共同責任」の線引き。自由を関係放棄と混同しない。

2031年前半～初秋

新しい話し方・連絡方法・役割を試す。従来のやり方に固執せず、二人用のルールへ更新。

Timingで特に重視した点

2027年3月20日頃から、亮介さんの大運は偏印（内省・探索）から正官（責任・役割）へ切り替わります。これは出来事を確定するものではありませんが、長期背景として「自分の内側で考える」から「役割・制度・責任を引き受ける」へテーマが変わる時期です。夫婦の将来設計を現実レベルで話す時、この切替は無視しにくい背景です。

美穂さんは2023年から2033年まで偏官の大運にあり、責任・外的要求・再編の長期背景が続いています。美穂さん側は「このままでいいか」を放置しにくい時期が長く、亮介さん側も2027年から責任テーマが強くなる。だから、2027～2028年は二人にとって“仲良くなるイベント”より、“夫婦の運用を決め直す”ことに使う価値が高い期間です。

PART 9

5つの質問への最終回答

受付時の問いを一問ずつ回収します

Q1 二人がもともとつながりやすかった部分と、現在距離が広がりやすい構造を知りたい

もともとの強みは、価値観・親和性・一緒に動くこと・実務的な協力です。美穂さんの金星・火星が亮介さんの太陽・金星・火星へ強く調和し、四柱でも日主が同じ庚、日支も同じ午です。反対に、感情のリズムは自動的に一致せず、美穂さんの金星・火星が亮介さんの月とスクエア。会話には土星と海王星が関与し、重さと曖昧さが入りやすい。二人とも自立して生活を回せるため、喧嘩より先に「各自で過ごす」へ移りやすいことが、距離を固定する構造です。

Q2 会話が減った時に、二人それぞれがどのような反応をしやすい？

美穂さんは最初は話題を作る・誘う・確認する側になりやすく、反応が薄い状態が続くと、傷つかないために働きかけ自体を減らしやすい。亮介さんは、明確な問題が起きていなければ生活を維持し、短い返答・保留・任せる形で摩擦を減らしやすい。結果として、美穂さんは「関心がない」と意味を読み、亮介さんは「大きな問題は起きていない」と扱うズレが生まれやすいです。

Q3 修復する場合に必要な条件と、無理に戻そうとしない方がよい部分は？

必要なのは、①一度に一テーマだけ話す、②短くても意味が分かる返答にする、③小さな共同行動を戻す、④一人時間を正式に認める、⑤改善担当を一人にしない、の5つです。戻さなくてよいのは、昔と同じ会話量、いつも一緒にいること、同じ趣味、何でも共有する夫婦像です。二人には「静かでも必要な話ができる夫婦」の方が合います。

Q4 子どもが独立した後を見据え、夫婦として話し合うべき現実的なテーマは？

休日の基本形、一人時間、家の中の距離、家計・老後資金、親・介護、二人で残す共同習慣、困った時の相談ルールです。感情の結論から始めず、生活設計から入る方が二人は本音へ近づきやすいです。

Q5 今後数年で関係の再設計を進めるなら、どの時期に何を意識すればよい？

2026 年秋～2027 年春は問題の定義。2027 年夏～秋は小さな再接続。2028 年は役割・生活ルールの具体化。2029 年は無理なく続くかの検証。2030 年は自由と共同責任の境界づくり。2031 年は会話方法の更新です。特に 2027～2028 年を「昔に戻るため」ではなく「これからの夫婦の型を作るため」に使うことが重要です。

PART 10

鑑定の要点 // 最終まとめ

美穂さんが怖いのは、「嫌いになったから」だけではありません。生活は続いている。困れば助ける感覚もある。それでも、子どもがいなくなった後に“夫婦二人として何が残るのか”が見えない。その不確かさが大きいのだと思います。

計算上、この二人には親和・共同行動・実務連携・必要時の支援という資源が残っています。だから、関係を整え直す材料はあります。ただし、感情のリズムと自由距離のズレもはっきりしているため、昔の形を復元することを目標にすると負荷が増えます。

もう一度、鑑定の要点

ご夫妻は、愛情が消えると壊れるというより、生活が安定すると「言わなくても回る」が進みすぎて無言化しやすい夫婦です。

関係を戻すより、関係を作り直す。

会話量を増やすより、必要な話を避けない。

一緒にいる時間を増やすより、二人で選んだ接点を残す。

この3つが、今後の判断軸です。

迷った時に読み返す3点

1. 「仲の良い夫婦に見えるか」ではなく、必要なことを話せるか。
2. 一人時間を認めても、二人だけの小さな共同部分が残っているか。
3. 困った時に頼れるだけでなく、普段から「自分の意見」を返し合えているか。

静かな夫婦であること自体は問題ではありません。静かなままでも、必要な時に相手の考えを確認できること。二人だけの共同部分を少量でも残すこと。そこまで作れれば、以前と同じ形でなくても、夫婦として続けられる土台は作れます。

PART A

今回の算出根拠一覧

本文で実際に使用した計算事実を、追跡できる形でまとめます

西洋占星術 - 二者間の主要アスペクト

組み合わせ	Aspect	orb	本文でのテーマ
美穂 金星 - 亮介 太陽	Trine	0.36°	親和・価値と主体性
美穂 金星 - 亮介 月	Square	5.93°	好意の出し方と感情リズム

組み合わせ	Aspect	orb	本文でのテーマ
美穂 金星 - 亮介 水星	Trine	5.38°	価値・好意と会話
美穂 金星 - 亮介 金星	Trine	4.29°	好み・親和性
美穂 金星 - 亮介 火星	Trine	4.04°	親和と行動
美穂 火星 - 亮介 太陽	Trine	3.16°	行動と方向性
美穂 火星 - 亮介 月	Square	2.42°	行動テンポと感情反応
美穂 火星 - 亮介 金星	Trine	0.78°	行動と受容
美穂 水星 - 亮介 木星	Conjunction	2.37°	会話を広げる
美穂 水星 - 亮介 土星	Conjunction	4.62°	会話の構造・慎重さ
美穂 水星 - 亮介 天王星	Sextile	0.72°	新しい話し方
美穂 水星 - 亮介 海王星	Square	5.20°	意味の曖昧さ
美穂 金星 - 亮介 天王星	Square	2.84°	親密さと自由距離
美穂 木星 - 亮介 月	Conjunction	0.07°	感情の支援・拡張
美穂 木星 - 亮介 土星	Sextile	3.50°	展望と構造
美穂 土星 - 亮介 太陽	Opposition	2.22°	責任と主体性の緊張
美穂 土星 - 亮介 金星	Opposition	1.71°	責任と愛情表現の緊張
美穂 天王星 - 亮介 月	Conjunction	1.58°	感情と自由・変化
美穂 冥王星 - 亮介 水星	Opposition	2.26°	言葉の強度
美穂 冥王星 - 亮介 火星	Opposition	0.92°	行動・主導権の強度

出生時刻に関する利用範囲

美穂さんは母子手帳確認済みのため、本人側の ASC・MC に関わる計算済み情報を使用できます。亮介さんは 23:16 の本人申告ですが記録確認がないため、亮介さん側の ASC・MC・ハウス重ねは主要判断から外しています。今回の主要結論は、時刻依存度の低い主要天体間アスペクトと四柱推命の確定／安定関係を中心に作成しています。

四柱推命 - 二者関係

項目	計算済み事実	本文での扱い
日主	美穂：庚（金・陽）／亮介：庚（金・陽）	同五行・同極性。並列性・対等性・自己主張の同質性。
日支	午 × 午	同支。似た反応軸を共有しやすい。
日支関係	午 × 午：自刑	同じパターンの反復・内部調整。
美穂 日支 × 亮介 時支	午 × 子：冲	違い・動き・調整。
月支同士	戌 × 辰：冲	生活背景・慣れた運用の違い。
美穂 月支 × 亮介 年支	戌 × 酉：害	見えにくいズレ・間接的な負荷。
方向別十神（日干）	互いに相手の日干を「比肩」	対等性・同類・並列性を強い補助根拠として使用。
美穂→亮介の可視天干	比肩／偏官／食神／劫財	対等性、役割圧、表現、競合・共有の補助文脈。
亮介→美穂の可視天干	比肩／比肩／食神／傷官	対等性、表現、批評・改善の補助文脈。

姓名判断の扱い

今回の相性計算では、姓名判断による二者の直接相性法は採用されていません。個人背景データは存在しますが、夫婦関係の主要結論は西洋占星術と四柱推命の二者計算を中心に構成しています。

MBTI の扱い

美穂さん ISFJ-T、亮介さん ISTJ-A はいずれも本人申告値です。MBTI は占術の計算根拠へ加点せず、I・S・J の共通性や F/T の違いを、会話・生活場面へ翻訳する補助レイヤーとしてのみ使用しています。

Timing - 大運・流年の主要背景

対象	期間	干支・十神	相談への翻訳
美穂さん大運	2023-10-19～2033-10-19	丙寅／偏官	責任・役割・外的要求の長期背景
亮介さん大運	2017-03-20～2027-03-20	戊子／偏印	内省・探索の長期背景
亮介さん大運	2027-03-20～2037-03-20	丁亥／正官	責任・役割・規律の長期背景
2026 流年	2026-02-04～2027-02-04	丙午／双方偏官	責任・外的要求
2027 流年	2027-02-04～2028-02-04	丁未／双方正官	責任・制度・役割
2028 流年	2028-02-04～2029-02-03	戊申／双方偏印	内省・探索・学習
2029 流年	2029-02-03～2030-02-04	己酉／双方印綬	受容・支援・内省
2030 流年	2030-02-04～2031-02-04	庚戌／双方比肩	自主性・自己決定・同輩性
2031 流年	2031-02-04～2032-02-04	辛亥／双方劫財	自主性・分配・競争／協働

Timing - 本文で使用した主要トランジット

人	Transit	window	exact	翻訳
美穂	天王星 Square natal Mars	2026-09-24～2028-04-03	exact: 2026-10-01 / 2027-05-23	行動・関係運用の再編
美穂	天王星 Square natal Venus	2026-11-30～2027-04-16	exact: 2027-01-12 / 2027-03-07	価値・関係距離の再編
美穂	木星 Conjunction natal Venus / Mars	2027-07-26～08-30	exact: Venus 2027-08-05 / Mars 08-21	接点・価値・行動の拡張
美穂	土星 Opposition natal Saturn	2028-05-03～2029-02-24	exact: 2028-05-20 / 12-23 / 2029-01-18	責任・構造の見直し
美穂	土星 Opposition natal Moon	2029-05-11～2030-02-25	exact: 2029-05-27	感情と責任の調整
美穂	土星 Square natal Venus	2030-06-01～2031-03-21	exact: 2030-06-17 / 2031-01-31 / 02-04	関係価値・境界の調整
亮介	木星 Trine natal Mercury	2026-11-03～2027-07-19	exact: 2026-11-27 / 12-29 / 2027-07-09	会話・理解の拡張
亮介	土星 Conjunction natal Mercury	2027-06-07～2028-04-02	exact: 2027-07-02 / 09-18 / 2028-03-16	会話の責任・構造化
亮介	木星 Trine natal Sun / Venus	2027-07-28～09-03	exact: Sun 2027-08-06 / Venus 08-25	自己表現・関係価値の拡張
亮介	土星 Conjunction natal Venus	2028-05-17～2029-03-14	exact: 2028-06-03 / 11-19 / 2029-02-20	関係・責任・境界
亮介	土星 Opposition natal Moon	2030-07-23～2031-05-15	exact: 2030-08-18 / 10-25 / 2031-04-29	感情と責任の調整
亮介	木星 Trine natal Mercury	2031-02-19～06-11	exact: 2031-03-07 / 05-26	会話の拡張
亮介	天王星 Sextile natal Mercury	2031-07-21～09-24	exact: 2031-08-25	話し方・考え方の更新